



ゆうすい NEWS No.44

平成 25 年 2013. 6. 20 発行



題字:大岡 信氏(詩人)

三島ゆうすい会事務局 〒411-0037 静岡県三島市泉町 5-3
Fax 055-975-6516 E-mail river@yusui.org
URL <http://www.yusui.org/>
※事務局員は常駐しません。
E-mail や Fax で、ご連絡いただくと助かります。

平成 25(2013)年度・第 22 回三島ゆうすい会総会開催

3月2日(土) 16:00~16:50、Via701 で三島ゆうすい会の平成 25 年度総会が開催されました。塚田冷子会長の挨拶に続き、来賓の宮澤正美静岡県議会議員(下左)、碓井宏政三島市議会議員(下中)、諏訪部敏之三島商工会議所会頭(下右)より、それぞれ三島ゆうすい会へのエールにも思える温かなご挨拶をいただきました。総会と講演会(17:00~18:00)の司会は、小松幸子副会長が務めました。

次に、青木利治理事が議長に選出され、大村皖伸理事が議事録作成人、中西康徳理事と柴原俊介理事が議事録署名人に指名されました。

大村洋子事務局長、佐藤久美子理事から、平成 24 年度の事業報告、決算報告が行われ、山口厚監事から監査報告があり、いずれも承認されました。

その後、会則や役員・組織に関する件、平成 25 年度の事業計画や予算案が出され、全て承認されました。



▲大村洋子事務局長の活動報告に聞き入る会員
総会直前に 93 歳で急逝された緒明實名誉会長のご冥福をお祈りするとともに、会則の役員の方の「名誉会長 1 名」は、「名誉会長をおくことができる」と表記することになりました。

▲佐藤久美子理事 ▲青木利治理事 ▲山口厚監事

記念講演会：演題「山田川流域の自然とミシマバイカモ」 講師 鈴木 昭紀先生(静岡植物研究会)



講師は、ネイチュアハイク・エーデルワイス主宰等もされており、所属団体や資格等々は数え切れないほどで著書も多数。この日の資料は何と 15 種類ほどを参加者全員に配布。また、手づくりの貴重な植物の標本なども回覧され、先生の意気込みが感じられました。フィールドワークとして現場での対応が多いということで、具体的に丁寧な説明をしていただきました。山田小の児童が三島市では初めてタシロランを発見した話や、ミシマバイカモと三島の人々との関わりの変遷など、興味深い話が続きまして。交流会は、秋山峰治副会長の司会で開始。



▲交流会に間に合った豊岡武士三島市長からご挨拶をいただき、参加者全員の発言の場を十分にとって、三島の湧水への思いが語られました。

P1 の総会交流会のつづき



▲宮崎眞行三島市産業振興部部長より、当会に期待していると挨拶



「三島ゆうすい会」は、今年も地道に活動を発展させていきましょう！カンパ〜イ！

平成 25 年度・役員名簿

会長：塚田 冷子 副会長：小松 幸子、秋山 峰治
 事務局長：大村 洋子
 理事：小浜 修一郎、岩田 重理、青木 利治、広川 敏雄、佐伯 忠夫、中西 康德、水野 幾子、佐藤 久美子、柴原 俊介、宇水 勉、大村 皖伸、平林 紘治、西川 勝美
 監事：山口 厚 相談役：渡辺 豊博
 運営委員：福場 正視、杉橋 芳夫、庄司 峯子、山梨 一正、間野 孝次、越沼 正、青野 雅枝、大庭 治美、岡野 久代、柴原 英子、松根 典子、米山 友子、坂井 良重
 顧問：中川 和郎、山岡 修一、小野 徹、落合 義朗、渡辺 妙子、志村 肇、木下 秀彰
 専門家：西岡 昭夫、渡辺 佐一郎
 名誉顧問：大岡 信（詩人）、富士 真奈美（女優）、吉行 和子（女優）、藤田 弓子（女優）

※昨年度は、大変残念なことに、専門家の杉山恵一様、名誉会長の緒明實様が逝去されました。長年にわたるお2人のご功績に感謝し、ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

「黒目川の景観を考える会」（埼玉県朝霞市）ほか数団体が視察で来訪

3月3日（日）、埼玉県朝霞市の「黒目川の景観を考える会」ほか数団体のみなさまが、大型バスで「三島ゆうすい会」の活動を視察にみえました。塚田冷子会長、小松幸子副会長、大村洋子事務局長、柴原俊介理事、越沼正運営委員が対応させていただきました。

三島市立公園楽寿園をスタートして、宮さんの川、塚田邸でホタルの幼虫観察や水琴窟体験をして、源兵衛川、雷井戸、三島梅花藻の里を視察。高田屋での昼食時に意見交換。最後は三嶋大社というルート。三嶋大社駐車場には、早咲きの河津桜が朝霞のみなさまを歓迎するように開花しておりました。この後すぐに、下記の御礼メールが、写真とともに送られてきました。

◆三島ゆうすい会の皆様 今日はありがとうございました。ほとんどのメンバーが、三島は初めての訪問でした。ヒューマンスケールのコンパクトな街に、自然と都会とが共存する景観。皆さん、すっかり三島ファンになりました。三島ゆうすい会の活動の深さ、市民活動の厚さに一同感服いたしました。源兵衛川のような川づくりを、わが町でも行いたい、帰り道の車中でも、そんな思いが語られました。貴会のますますのご発展を祈念いたします。

黒目川の景観を考える会 小林 一己◆

朝霞のみなさまの行動の素早さと熱心さに感心するとともに、参加者の熱意に刺激させられました。



視察団の代表者は、「わくわく新河岸川みどりの会」代表でもある山本長志郎氏

モクズガニたちへ



三島の水辺で
 元気に育ってね！
 みずがきちゃん
 たちが、
 「一緒にあそぼう」
 と待っているよ！



4月11日（木）、秋山峰治副会長と中西康德理事は、朝8時に三島を車で出発。浜名湖漁協で95kgのモクズガニを求め、午後1時には三島に戻り、当会メンバーと菰池公園、白滝公園、御殿川、沢地川、夏梅木川等々へ放流しました。「子どもたちが三島の水辺で、自然な形でモクズガニに出くわすような日がくると嬉しい」と、2人はカニに託した願いを語りました。実際、水辺で多くの親子に出会い、将来を期待されました。





「身近な水環境の全国一斉調査」に初回より連続参加

好天の6月1日(土)、8:30~11:00頃まで、第10回「身近な水環境の全国一斉水質調査」に参加しました。初回より連続参加で、「10回目の今年は格別に感慨深いものがあります」と語る人もいました。塚田邸に集まった11名は、大場川班と街中班に分かれて調査を開始。大場川班も、CODや水温等を調べて記録し、結果については例年とほぼ同じで安定していました。街中班は、源兵衛川、御殿川、桜川で調査。田植えの季節を迎え、豊かな水量になってきた川で3回ずつ取水して調査しましたが、いずれも良い結果を得られました。新緑と彩り豊かな花々の美しい市内を、心地良い風に吹かれながら、ホテルや三島の歴史にも話ははずんだようです。



両班が帰着した頃、待ち望んでいた宮さんの川のカルガモのヒナたちが孵化。抱いていた卵が5羽孵り、さっそくヒナは親ガモの後を追って可愛い仕草で水に。三島ゆうすい会のメンバーも近所の人たちと一緒に、しばし親子のカモを見守りました。

第10回「身近な水環境の全国一斉水質調査」への参加者は、塚田冷子会長、小松幸子副会長、大村洋子事務局長、佐伯忠夫理事、中西康德理事、水野幾子理事、佐藤久美子理事、宇水勉理事、大村皖伸理事、平林紘治理事、西川勝美理事の11名。事前準備は、塚田会長、佐藤理事、宇水理事、大村皖伸理事の4名が行ってくれました。

第29回「三島ホテルまつり」に、当会役員の多数が協力



6月8日(土)の天候は良好で、明るいうちから誰もが早くも祭りの成功を喜ぶかのような笑顔でした。人出は昼間から順調。塚田冷子会長は、三島ホテルまつり実行委員会の顧問(実行委員長は志村肇顧問)。本部には、塚田会長、小松副会長、大村洋子事務局長、水野理事が詰め、設営は早くから、岩田重理理事、広川敏雄理事が担当しました。入場者のカウントは、駅前口が青木利治理事、西川理事、正門が中西理事、宇水理事、柴原俊介理事、西作業門が大村皖伸理事、平林理事が担当し、夕方からカウントしての合計が1万人を突破しました。三島市役所が調べた昼間の入場者も含め、主催者の発表で昼夜合計13,000人以上とのこと。舞台も歌やダンスで賑やかに盛り上がり、ホテルの美しさを満喫できた楽しいお祭りでした。

ありがとう!たくさんのホテルたち!
イベントを支えてくださったみなさま!



SBSのテレビで 「三島ホテルまつり」をPR

塚田会長と志村顧問



6月6日(木)の夕方、SBSのテレビに2人の映像が放映され、源兵衛川のホテルや「三島ホテルまつり」が紹介されました。イケメン気象予報士の比連崎実さんが、インタビュー後に「初蛸〜」と一句詠み、今回の「三島ホテルまつり」の良い宣伝になりました。

「飛鳥時代の水時計、今はどうなっているの?」

平成12(2000)年6月10日(時の記念日)、飛鳥時代の水時計のお披露目の日、富士山を見るために息子さんと三島を訪れていたイギリス人のジュディ・オバディエさんと、小松幸子副会長が知り合いになって、以来交流。今年の1月、13年振りにロンドンで再会しました。

さっそく、「あの時の飛鳥時代の水時計は、どうなっているの?」と聞かれました。現在、息子さんは仕事で父親とオーストラリアに行っており、ドバイから休暇で訪れていたという娘さんが同行してくれました。海外の人も心にとめていた飛鳥時代の水時計は、果たして再設置されるのでしょうか。「あの日、短い三島滞在ながら、富士山からの澄んだ湧水による源兵衛川と飛鳥時代の水時計を紹介できて、本当に良かった」と小松副会長。



ミシマバイカモ・保全活動

「三島梅花藻の里」と源兵衛川等で、ミシマバイカモの保全活動を続けています。みなさまも、長靴、ビニール手袋等ご準備のうえ、ご参加ください。(詳細は下記一覧参照) 三島のミシマバイカモの花は、ほぼ年間を通じて見ることができます。



グランシップマガジン[ジー]が「三島ゆうすい会」を取材掲載



(財) 静岡県文化財団発行の雑誌 3 月号で、当会の活動が紹介されました。掲載写真は、三島梅花藻の里での作業風景。見出しは「渾々と湧き出る水の都へ 激みない活動は続く。」で、象徴的です。記事は「静岡県文化団体探訪 15」として掲載されており、今後の活動にも期待が寄せられています。

他団体の活動にも参加して、会の活動を紹介

3 月 16 日 (土)、17 日 (日) に日本大学三島駅北校舎で開催された NPO 法人グラウンドワーク三島の設立 20 周年事業に、塚田冷子会長と大村洋子事務局長が参加。16 日の式典では、それぞれが感謝状を受け取り、会での取り組みについて話した。17 日の全体討論会では、三島ゆうすい会会長として環境教育について発言。ロビン・ヘンショウ氏とも再会。



定例活動のお知らせ

- ★いずれも、自由参加
- ★雨天の時は、原則休み



宮さんの川の清掃

- ・原則 毎朝 6:30～
- ・宮さんの川へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋
- ※「宮さんの川を守る会」とともに、清掃します。

「三島梅花藻の里」でミシマバイカモ保全活動

- ・原則毎月第 2 日曜日 10:00～
- ・三島梅花藻の里へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋、草取り道具等

源兵衛川の清掃

- ・原則毎月第 2 日曜日 10:00～
- ・水の苑緑地・かわせみ橋へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋
- ※「源兵衛川を愛する会」とともに、清掃します。



源兵衛川の第 2、第 3 ゾーンと宮さんの川からシンコウパークまでの鎌倉古道の清掃活動

- ・原則毎週土・日曜日の朝 6:00～
- ・源兵衛川いずみ橋へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋、ゴミを入れる袋等

源兵衛川のいずみ橋から広瀬橋までのゴミ拾いなど

- ・原則毎週土・日曜日の朝 6:30～
- ・源兵衛川いずみ橋へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋、ゴミを入れる袋等

桜川の清掃

- ・原則毎月第 1 土曜日 10:00～
- ・白滝公園へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋
- ※「桜川を愛する会」とともに、清掃します。

ロビン・ヘンショウさん、塚田邸でホタルの観察ほか



3 月 19 日 (火) に、ロビン・ヘンショウさんが、塚田冷子会長に会いたいとホストファミリー (水野幾子理事ほか) たちと塚田邸を訪れ、ホタルの幼虫観察や、水琴窟の音色を再体験。庭に咲く季節の花々や時折枝に飛んでくる鳥にもカメラを向けていました。

以前、英国から奥様と塚田邸を訪れた時のことを懐かしく語り、ほっとしたひとときを過ごしました。

ホームページをリニューアル!

「三島ゆうすい会」のホームページが、リニューアルされました。「ゆうすい NEWS」もカラー版で見ることができます。また、従来のホームページも閲覧できます。ぜひ、ご覧ください。

URL : <http://www.yusui.org/>

新会員のご紹介
堀之内 勝之 様
杉山 美智子 様

ご寄付のお礼

緒明 登美子 様
石川 めい子 様
ご支援、ご協力に対して、心より感謝申し上げます。

会費納入のお願い

本年度分会費の納入にご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

★正会費 3,000 円

★賛助会費 1 口 10,000 円 (何口でも可)

※下記のいずれかに納入してください。

〈お振込み先〉

・郵便振替 0840-4-118192

加入者名：三島ゆうすい会

・静岡銀行三島支店

普通預金 No.0346532

口座名：三島ゆうすい会

会長 塚田冷子

・スルガ銀行三島セントラル支店

普通預金 No.572969

口座名：三島ゆうすい会

会長 塚田冷子

・三島信用金庫西支店

普通預金 No.1042399

口座名：三島ゆうすい会

会長 塚田冷子